

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「ラコビア公立高校通学バス整備計画」  
引渡式**

2022年10月7日、セント・エリザベス県において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ラコビア公立高校通学バス整備計画」の引渡式が開催されました。

藤原大使は、挨拶の中で、日本は学び合いを通じた質の高い教育の実現を目指し「みんなで支えるみんなの学び」をビジョンとして掲げていることを述べ、特にポストコロナ時代を迎え授業再開された今、生涯に影響する大切な基礎教育を適切に提供できる教育システムを強化する為の協力ができたことは光栄であるとして、感謝の意を示しました。また、誰一人取り残さない教育環境の向上にむけてジャマイカとの協力を一層強化していきたいと述べると共に、今後2台のバスが生徒に安全で信頼できる通学手段となることを期待しました。

本件事業は、セント・エリザベス県ラコビア町に位置するラコビア公立高校に29人乗りの通学バス2台を整備し、遠隔地に居住する生徒に安全で適切な通学手段を提供することで、同地域の生徒の学習機会を確保し、もって同地域の学力向上に寄与するものです。

今般の署名式には、被供与団体の代表、ウィリアムズ教育・青年大臣、ウィリアム・ハッチソン議員（セント・エリザベス県北西地区選出）、ローラ・マーシャル・ウィリアム理事長、国家教育基金関係者、学校関係者、地域住民代表者、報道機関関係者などが出席しました。



本支援の意義を述べる藤原大使



挨拶をするフェイバル・ウイリアムズ教育・青年大臣



日本の支援に感謝を述べるリカード・ベネット・ラコビア公立高校校長



詩で日本への感謝を披露したラコビア公立高校の生徒代表



供与されたバスのテープカット



式典に参加する生徒